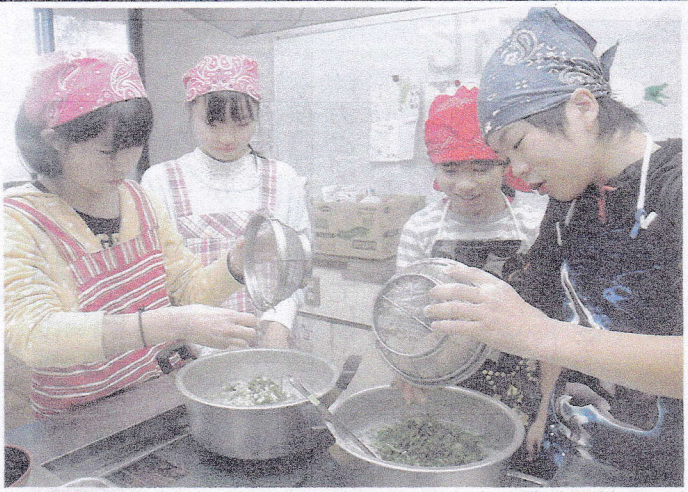
（第3種郵便物認可）　2014.1.8(水)　中日　中

七草がゆ作り 舌鼓

楠で磯津環境学校が催し



七草を鍋に入れる子どもたち＝四日市市の楠公民館で

一年の無病息災を願って食べる七草がゆを作る催しが七日、四日市市楠町北五味塚の楠公民館であり、北勢地域の小中学生と保護者ら十人が参加した。環境学習に取り組む市民グループ「磯津環境学校」が開催。七草が身近な所に生えていることを知ってもらうため、ハコベラやオギョウはメンバーが公民館近くのあぜ道で摘んだ。

参加者は七草の名前を確認しながら、包丁でみじん切りにして鍋に入れ、塩加減を調節した。菜飯や天ぷらも作り、全員で食卓を囲んだ。菰野町から参加した岡田世紀君（三）は「おいしい。最高の出来栄え」と満足そうだった。（井口健太）

同じ日の中日新聞から

春の七草、楽しんだよ！

この映像は参加した愛ちゃんが作ってくれたものです。ちゃ～～んとタイトルや挨拶まで入っていますので、私が註釈をつけることはないのですが、ホ～～ンと楽しく、おいしい会でした。春の七草を並べてチェックして、その後、七草粥、菜めしごはん、テンプラにしていただきました。菜めしは去年のセリご飯並みにおいしかったですし、七草粥はさっきも電話があって、冷めても香りと甘みがあってすごくおいしいとのこと、再発見でした。

小中学生から79歳の元気な女性、賑やかなキャサリン…と笑いは絶えず、取材に寄ってくれた中日の記者さんも圧倒されんばかりの雰囲気でしたよ。

鏡開きの後、乾杯をする小林会頭（左から2番目）ら＝四日市市内のホテルで

「産業観光に力を」

四日市商議所 賀詞交歓会で会頭

四日市商工会議所は七日、四日市市内のホテルで新春賀詞交歓会を開き、会員企業や国、県、市の関係者ら五百五十人が参加した。

小林長久会頭（日本トランスシティ会長）が「地方の企業を取り巻く厳しい状況は続いている。商工業の発展を第一に、事業を展開していく」とあいさつ。さらに＊四日市コンビナートの夜景クルーズなどを挙げ「産業観光に力を入れ、四日市の良さを発信していきたい」と話した。

小林会頭や田中俊行市長らによる鏡開き、乾杯に続き、参加者は互いに新年のあいさつを交わしていた。（佐野周平）

＊いつまでもこんな認識で困ったものです。